



一般社団法人 **WIND** (ウィンド)
Women's health Integrative Network of Doctors
【女性の健康と医療を守る医師連合】

・ Address : 〒001-0014
札幌市北区北 14 条西 4 丁目 1 番 21-603
・ Tel : 011-716-2222 Fax:011-716-2224
・ <http://www.wind.or.jp>

一般社団法人 W I N D
第 30 回理事会 (2022 (令和 4) 年度)
議 事 録

開催日時
2022 (令和 4) 年 11 月 3 日 (木・祝) 10 時 11 分から 11 時 13 分

会 場
北海道大学大学院医学研究院会議室



一般社団法人WIND 第30回理事会 議事録

【 2022 (令和 4) 年 11 月 3 日 (木・祝) 10 時 11 分から 11 時 13 分 】

会場：北海道大学大学院医学研究院会議室

○出席者数確認【本日の出席理事数：17名】 定足数14名（理事数：26名）

会場出席数：0名 Web会議システム出席数：17名

幹事長は、定款第27条第2項に定める過半数の理事が出席されていることから、理事会として成立している旨宣言された。

幹事長は、開会に先立ち、Web会議システムにより、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

1. 開会の辞：金野陽輔幹事長

2. 議長（渡利英道代表理事）挨拶

3. 議題等

報告事項

（1）理事の就任辞退について（資料1）

議長から、理事会及び総会で承認された理事候補者の藤堂幸治先生から申し出があった就任辞退について受諾した旨の報告がされた。

【議長の報告内容】

本年度は理事の改選期に当たることから理事候補者について理事会及び総会で承認頂いていました。総会后、理事候補者の藤堂幸治先生から就任辞退の申し出がありましたので、受諾しましたことをご報告いたします。

藤堂先生の選任区分は「診療・特任・客員臨床准教授」となっていましたので、後任の選出はありません。なお、法務局への理事の変更届は「任期満了」による退任となっています。

については、本年度改選された理事は資料1のとおり26名となりましたので、ご確認願います。

補足ですが、藤堂幸治先生から9月末でWINDを退会する旨の申し出がありましたので、これを受理しました。



(2) 令和4年度上半期総務報告

① 法人社員数報告 (資料2)

幹事長から、資料2により施設社員数及び個人社員数について報告された。

【幹事長の報告内容】

・施設社員：30施設

前回の理事会で北海道労働保険管理協会が新規に加入予定と報告していましたが、現時点で加入の申し出がないことから加入しないと考えています。

・個人社員：169名

前年度からの繰越は163名で、令和4年度上半期は8名が新規加入しまして、2名が退会し、個人社員は169名となっています。

② 事業報告 (資料3)

幹事長から、実施済事業にアンダーラインを付している旨説明の後、実施済事業について個別に報告された。また、研修医勧誘補助及び学会参加費補助について報告がされた。

【幹事長の報告内容】

・ハンズオンセミナー

宿泊を伴う開催を検討していましたが、コロナ禍で難しいと判断し6月18日(土)に北大シミュレーションセンターで開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により2年間中止となっていました。今回、少し感染状況が落ち着いたこともあって3年ぶりに開催しました。セミナー開催にあたっては、スペースの十分な確保、マスク着用、手指消毒、換気などの感染対策を行い安全に行うことができました。参加者は、初期研修医2年目9名、初期研修医1年目5名、医学部6年生4名、医学部5年生4名で計22名でした。

多くの関連施設から、若手の先生を中心にチューターとして13名に参加頂きまして、かなり好評だったと思います。参加した先生方が結構入会を決めてくれて大変意義のあるセミナーだったと思います。

・研修説明会

5月25日(水)にWebで開催しました。学生・研修医25名が参加し、関連病院からも40名が参加と、こちらも参加者から入会者が沢山ありましたので意義があるものだったと思います。

・学会支援

第40回北海道思春期研究会(6月26日(日)オンライン開催)

第19回北海道周産期談話会(7月2日(土)札幌医科大学記念ホール)

第11回北海道産婦人科乳腺医学会学術集会(10月23日(日)オンライン開催)



第 52 回北海道母性衛生学会 (10 月 29 日 (土) 北大学術交流会館)

・ その他

WIND 総会は、5 月 7 日 (土) にニューオータニイン札幌で、同門会臨床セミナー開催前にオンライン開催しました。

○研修医勧誘補助について (資料 3-2)

配分予算は 300 万円となっています。

総会時の勧誘補助費の未使用額が 1,404,770 円で、上半期で報告のあった分 219,232 円を控除した残りが 1,185,538 円となっています。6 月 13 日付で研修医の受け入れ人数を照会しまして該当機関から回答がありました。配分額は計算式に基づき端数整理後配分額 3,010,000 円となりました。実際の送金額は端数整理後配分額からこれまでの配分額の未使用分を調整した調整後送金額を 7 月 29 日に現金書留で郵送していますので、ご確認をお願いします。

新型コロナウイルスの影響により WIND の活動も制約される状況が続いていますが、勧誘に有効な活用をよろしくお願いします。

勧誘補助費の予算執行範囲については、コロナ禍の対応として以前までは会食を中心としていましたが、なかなか会食できませんので、学生・研修医が自習できる教科書などの書籍、腹腔鏡手術の練習機のような自己学習ができる実習シミュレーターなどの練習器具等に広げることが、令和 2 年度の理事会及び総会において承認されています。学生・研修医が学習に使えるものについては勧誘補助費から執行して問題ありませんのでよろしくお願いします。

○学会参加費補助について

昨年度に引き続き、今年度も WIND 事業の多くが中止となり予算執行が減少していることから、個人会員の先生に学会に積極的に参加して頂くことを目的として、個人会員の学会参加費の 2 万円を上限に WIND から補助を行うことが承認されています。

昨年度の申請が少なかったことから、令和 3 年度に申請されていない個人会員の先生について、今年度申請の 2 万円とは別に令和 3 年度の学会参加費を今年度に限って申請することができるとしています。申請の期限は来年(令和 5 年) 3 月 31 日までとしています。

学会参加費補助の申請状況ですが、現在申請された個人会員が 8 名と非常に少ない状況となっています。メーリングリストで 5 月 23 日、8 月 29 日の 2 回周知を行っていました。周知により特別に申請が増えていないのですが、さらに周知していく予定です。理事の先生からも所属の個人会員の皆さんに申請されるように周知をよろしくお願いします。

この学会参加費補助は、学会に積極的に参加して頂くための支援も目的としています。オンライン開催の学会が多く参加しやすい環境となっていますので、指導医の取得維持、サブスペシャリティ資格の取得維持にも役立てればと考えています。積極的な学会参加



についても併せて周知をお願いします。

【議長】関連施設の先生方には、少額ですが勧誘補助費の配分をしていますので有効に活用して頂ければと思っています。北大の場合はコア科でお世話になっていますので有効に活用して頂いてリクルートに繋げて頂ければと思っています。産婦人科が必修プログラムになっていることを考えますと研修医の教育の中で産婦人科医を志す人も増えてきたらいいと思っています。そうでなくとも産婦人科の教育をしっかりやることは基本的に大事だと思っていますので、活用して頂ければと思っています。

【井平先生】ハンズオンセミナーについては、やってみますと良いなどの感じがありました。距離を縮めることはWebだけだと難しいところがありましたので、実際に手を動かすことで興味を持ちましたとの意見が沢山あります。これをきっかけにして引き続きやっていくこと、できれば懇親会まであった方がさらに距離を近づけられるのにと考えます。

もうひとつ私がハンズオンセミナーで集まってもらうことに拘っているのは、指導医で来てもらっている若手の先生達の繋がりの中にもありますので、コロナの状況が許せば何らかの懇親会を含めてやっていきたいと思っていますところでは。

【議長】日産婦のサマースクールも今年は現地開催で、大阪に200人ぐらい集まりました。やはり会食のところはハードルが高くて設定していない形で今年は開催しました。来年のハンズオンセミナーについては後で議題となっていますが、来年は出来ましたら従来通りでやってみたいと思います。なかなか大学の会食に関する規定もありますので、それを見極めながら慎重にやっていく必要があると考えています。

(3) 令和4年度上半期会計・決算報告(資料4、資料5)

奥山会計担当理事から、資料4及び資料5により令和4年度上半期会計・決算報告について報告がされた。

【奥山会計担当理事の報告内容】

○会費収納状況報告

令和4年度上半期のWIND会計についてご説明いたします。

幹事長からも説明がありましたが、施設会員は31にならないで30施設のままで。個人会員は171名から始まって9月末の段階では169名で2名の減となっています。

資料4の会費収納状況報告をご覧ください。

資料の中段の予算額ですが、施設会員会費としまして15,600,000円、個人会員会費としまして5,095,000円、トータル20,695,000円の会費収入の予定となっています。下段の収納状況ですが、施設会員会費からは15,600,000円全て納入されています。個人会員会費からは905,000円の未納額がありまして4,190,000円の納入となっています。トータル19,790,000円の会費収入となっています。一番下の欄の435,000円は過年度の未



納額となっています。

次の頁の会費収納状況報告は未納者リストです。今年度分で氏名欄が空欄になっているのは10月に会費を納入頂いている方です。トータルとして過年度分 435,000 円、今年度の上半期分の未納額は 905,000 円でしたが、実際には10月納入分がありますので 905,000 円より少ない金額となっています。9月末現在となっていますので今回はこの金額で報告させて頂きました。

資料には未納者の名前がありますので、お見かけしましたら声を掛けて頂ければと思いますのでよろしくお願いいたします。

○予算実施状況報告

資料5の事項別収支報告書をご覧ください。

収入の部ですが、ウィンド会費ですが先ほどの収納状況で 19,790,000 円の収入と説明しました。前払いとして下半期分の会費をお支払い頂いた個人会員の先生の分 135,000 円を会費実績に入れさせて頂きまして 19,925,000 円の収入となっています。

利子収入は 151 円ありました。前年度繰越額は会費未収額 435,000 円を差し引いた 37,530,332 円となります。トータル 57,455,483 円の収入実績となります。

支出の部ですが、事業費は 1,850,812 円となっています。昨年度の同時期の実績が 3,371,456 円でしたので、色々な事業が実施できないことで半分近くの実績金額となっています。実際に使用された内容としましては、学生研修医費用で 969,657 円、研修医リクルート関連で 551,155 円、ホームページ関連で 330,000 円となっています。

補助費は 1,479,118 円の支出となっています。内訳は、教室学術研究費として 373,739 円、主催学会準備金は備考欄の道リンパ浮腫診療ネットワークから北産婦業務委託費までの項目を記載していますが 617,889 円が今のところ支出されています。研究助成は眞山先生に 282,170 円を助成しています。学会発表補助は 205,320 円が支出されています。予算からしまして少ない数字となっています。

会議費は 267,750 円で、WIND 会議費、総会費がありますが、やはり Web 開催となっていますので、実際にかかった金額は予算額 200 万円のところこの程度となっています。

事務費はコロナが関係無く支出されていますので、現在 4,790,408 円の支出となっています。これにつきましては予算額通りの執行となっています。

交際費は 20,520 円、租税公課は 70,000 円の支出となっています。

支出のトータルは 8,458,088 円となっています。

○損益計算書・貸借対照表

次に損益計算書と貸借対照表を説明させていただきます。

まず右側の損益計算書ですが、会費収入は現在のところ 20,695,000 円を予定し計上しています。予算実施状況報告で説明した事業活動費用として 8,458,088 円の支出がありました。事業活動収支計は 12,236,912 円の黒字となっています。事業外収入の受取利息



151 円が加わりまして 12,237,063 円が経常収支差額となります。特別損益の部はありませんので当期収支差額も同額の 12,237,063 円となりまして、これだけの黒字額となります。

続いて左側の貸借対照表です。

流動資産は、現金および預金は 45,783,236 円と大きな数字となっています。本年度分の未収会費は 905,000 円となっていますが現在はもっと減っています。過年度分の未収会費は 435,000 円、関連病院に預かって頂いている勧誘補助費を未収金として 3,019,538 円があります。BLSO 立て替え、北産婦業務委託を加えた 50,811,134 円が流動資産合計となっています。なお、固定資産、繰延資産はありませんので、資産合計も同額となっています。

流動負債は、仮受金（前受金・預り金）100,000 円は、会員が前もって会費を多く納入されている分を仮受金として計上しています。仮受金（下半期分）135,000 円は先ほど説明しました上半期に下半期分の会費が納入された金額を計上しています。未払金（教室研究費）373,739 円は 9 月までに支払えなかった教室の研究費です。負債合計は 608,739 円となっています。

正味財産は、資本金（基金）が 3,000,000 円、前期繰越収支差額 34,965,332 円と当期収支差額 12,237,063 円の合計が中間期で次期繰越収支差額 47,202,395 円となりまして、正味財産合計は 50,202,395 円となります。

負債合計と正味財産合計を合わせて 50,811,134 円となりまして資産合計と一致しています。これが負債及び正味財産合計となります。上半期として 12,237,063 円の黒字となります。

黒字を減らさなければならないのですが、黒字が増えている状況となっています。

○合計残高試算表

資料の中段の費用でどのような項目に支払ったかが分かりまして、健全な運営がされています。

以上、上半期は黒字であったことを報告いたします。

【議長】ここ数回の理事会でもお話していますが、来年の教室 100 周年が大きな事業になりますのである程度の経費がかかると予測はしています。経費について具体的な数字を出していく必要があると思っています。もうひとつは正式にお話は出来ませんが、教室主催の全国学会を今後開催する予定になると思っています。そうなりますと、それに経費がかかると予想しています。具体化しましたらご相談させていただきますが、予算にある程度余力がありますと、会費値上げをしないで賄えればと思っています。ご理解を頂ければと思います。



議 題

第 1 号議案：令和 4 年度下半期事業予定について （資料 3）

議長から、幹事長から説明のあった下半期に行う事業について諮られ、承認された。

【幹事長の説明内容】

- ・ 初期研修医へのアプローチ

若手委員会主催交流会、国家試験慰労会を計画しています。

- ・ 研修発表会

2023 年 1 月 21 日（土）に予定しています。研修発表会を色々調整しています井平先生から説明をお願いします。

【井平先生】研修医へのアプローチとしては、いくつかありまして

- ①入局を決めてくれた方達に Web での講義といいますか、4 月から産婦人科医になるに当たって不安なくスタートできるように月 1 回の勉強会みたいなものを開催しています。
- ②2 月下旬を目標にエチコンさんに協力して頂いて縫合のハンズオントレーニングをやりたいと思っています。私が帝王切開後の皮膚縫合の試験に関わっていることもありまして若手の先生を中心に勉強会を開きたいと思っています。それに講師の形でお話を頂こうと思っていますので全体から見れば些少ですがコストがかかります。
- ③国家試験は 2 月 4 日、5 日ですが、6 年生の皆さんに希望、都合を聞いて国家試験慰労会として何かをやりたいと思っています。

研修発表会は、教育に関連の先生 2 人をお呼びして講演の形で領域講習のポイント申請を行っています。参加頂いた方は現地で e 医学会カードではなく新しいアプリでの登録となります。ZOOM のログでポイントが取れることになっていますので、遠方の方には ZOOM を用意してポイントを付けようと準備しています。

- ・ 情報発信

WIND ホームページ、メーリングリストによる情報発信を継続します。

- ・ 学会支援

浦河 BLSO は日程等が未定となっています。

札幌 ALSO プロバイダーコースは、ZOOM セミナーを 11 月 22 日（火）、会場演習を 11 月 26 日（土）又は 27 日（日）に手稲溪仁会病院で開催します。主催は北海道周生期医療救急支援の会（HOPPIE）で、共催が札幌市、WIND となっています。

第 65 回北海道生殖医学会総会・学術講演会が 2023 年 2 月 4 日（土）に北大医学部フラテ特別会議室で開催されます。

- ・ その他



同門会・WIND合同忘年会が12月17日(土)札幌パークホテルで、基本オンライン開催となります。今年度入会者及び来年度入会予定者については、現地参加として交流を深めることを予定していますので、所属病院の先生方は新入会員の先生の勤務などのご配慮をお願いします。

【議長】井平先生から説明のありました研修発表会ですが、日産婦の教育委員会の委員長をやっていること、あと医学教育活性化委員会という新しい小委員会を立ち上げて井平先生中心にやって頂いていることもありまして、指導する側の教育も結構大事かと思っています。教育を熱心にやっている先生をお招きして研修発表会にカップリングする形で計画しています。単位も取れますので是非沢山の方にご参加頂ければと思っています。

忘年会は色々計画しましたが、コロナが増える予想もあり従来通りの開催は難しいことから、大久保会長とご相談しまして昨年と同じ開催となりました。来年は沢山の方に入会して頂きますし、今年も沢山入会されましたので、横の繋がりや、組織として仲間になったことを実感してもらいたいので、現地にきて頂くことにしました。全員に集まって頂くことは難しいと思いますのでご理解をお願いいたします。

第2号議案：来年度総会会場及び時期について

議長から、幹事長から説明があった来年度の総会について諮られ、2023(令和5)年5月20日(土)に同門会臨床セミナーと同日に開催することとし、詳細については次回理事会で決定することが承認された。

【幹事長の説明内容】

今年度は5月7日(土)に同門会臨床セミナーと同日開催としまして、セミナー開催前にWIND総会を開催しました。来年度については、コロナ渦で同門会臨床セミナーと別日に開催することは難しいこともありますので、今年度と同様に同門会臨床セミナーと同日にWIND総会を開催することを検討しています。詳細については同門会とご相談しながら決める必要がありますので、次回理事会で日程等を決定したと考えていますのでよろしくお願いいたします。

同門会臨床セミナーの日程は、例年、5月の連休明けの土曜日としていますが、来年度は第75回日本産科婦人科学会学術講演会が5月12日(金)から14日(日)に開催されますので、次の週の2023(令和5)年5月20日(土)の予定と聞いています。

開催方法については、新型コロナウイルスの感染の流行の状況により検討したいと考えています。

総会の会場を毎年札幌で開催する方針は、第24回理事会(2019年11月10日開催)で承認されていますので、来年度も札幌での開催となります。

【議長】5月の連休の第1週の土曜日は、流石に皆さんに賛同を得られないと思います。日産婦学会の日程がずれ込んで5月12日から14日となりましたので、次の週に設定



しました。セミナーの講師は九州大学の加藤聖子先生をお願いしています。

第3号議案：来年度ハンズオンセミナー会場及び時期について

議長から、幹事長から説明のあった来年度のハンズオンセミナーについて諮られ、新型コロナウイルスの状況が不透明なことから、開催時期を2023（令和5）年6月17日（土）、18日（日）として、開催の有無、開催方法、会場については、新型コロナウイルスの感染状況により引き続き検討することが承認された。

なお、開催方法は可能であればコロナ前の開催形式とするが、状況によっては、今年と同様に北大シミュレーションセンターを使用した開催とすることが確認された。

【幹事長の説明内容】

今年度のハンズオンセミナーは、当初、6月18日（土）、19日（日）に登別第一滝本館を会場として開催を予定していましたが、やはり感染状況を考えて宿泊を伴うセミナーを中止しまして、6月18日（土）に北大シミュレーションセンターを会場として宿泊を伴わない1日でのセミナーを開催しました。

来年度のハンズオンセミナーは、今のところ2023（令和5）年6月17日（土）、18日（日）として宿泊で出来ないかと検討しています。場所についてはルスツリゾートホテル&コンベンション又は第一滝本館を予定しています。

【議長】例えば会食は全員でしないで各自とし、札幌以外のところにとりあえず行くのは有ですか

【井平先生】それであれば、開き直ってセミナーは北大シミュレーションセンターで行い、会食は各自小さな単位で行う方が素直かもしれません。

【議長】やはり無理がありますか

【井平先生】そもそも移動のところで、皆さんが一つのバスに乗って行くところからひとつハードルになっています。それが許される情勢かどうかになります。

一応、キャンセルポリシーのぎりぎりまでは準備をしておきたいと思っています。

【議長】バスでは無く各自での移動とすると、アクセスの悪いところは大変ですね基本的にはコロナ前の開催形式を出来れば取りたいと考えていますが、無理はできない状況と思っています。場合によっては、今年開催した形式の北大シミュレーションセンターを使用した開催とする。いずれにしても開催することによろしいでしょうか

第4号議案：その他

・5月以降人事について（資料6）

議長から、幹事長から説明のあった5月以降の人事について諮られ、承認された。



【幹事長の説明内容】

資料は、5月の理事会以降の人事のリストになり、少ない数となっています。

【議長】山田崇弘先生は11月1日付の発令で、12月の忘年会で何かイベントができな
いかと考えましたが、タイトで難しいので、今年度中に出来たらやりたいと考えていま
す。難しければ来年春の同門会のときに合わせて何かやることを考えたいと思っていま
す。先行き不透明なのでどのようになるか分かりませんが、お祝い事ですので何か開催し
たいと思っています。

4. その他

①HOPPIE事務局について (資料7)

議長から説明のあったHOPPIE事務局をWIND事務局内に設置することにつ
いて承認された。

【議長の説明内容】

ALSO、BLSOの周産期医療水準向上に貢献するコースを開催しています「北海道
周生期医療救急支援の会 (HOPPIE)」が立ち上がっています。その支援として事務的な負
担の軽減のためHOPPIE事務局をWIND事務局内に設置することにさせて頂きま
した。

HOPPIEについて斎藤良玄先生から説明をお願いします。

【斎藤良玄先生】HOPPIEは任意団体ですが、立ち上げた経緯についてご説明しま
す。2014年からALSO、BLSOの周生期救急のコースについてWINDのご支援
のもと開催してきましたが、財政面がネックだった事実があります。年間で100万円程
度多い時では200万円弱の開催経費がかかっていました。本来であれば救急隊に教え
るコースも含まれていますので、行政からの支援をもう少し受けるべきコースかと思わ
れます。行政との交渉を続けていましたが、行政の言い分としては、道内の3大学の中
で1大学のみに支援することは難しいと言われましたので、2019年からの支援の受け
皿として3大学の有志、助産師で北海道周生期医療救急支援の会 (HOPPIE)を立ち上げ
まして、顧問に渡利先生に就いて頂いた経緯があります。

現在、札幌市から年間500万円を上限とする資金援助を受けて活動していますが、
会計作業に非常に難渋してしまして、顧問の渡利先生に相談したところWINDに事務
局を移す提案を頂きました。ご検討をお願いいたします。

【議長】補足ですが、継続的な活動をした方がいい事業だと思っていて、現在たまたま札
幌市から補助を頂いていますが、その後について安定する必要があると思います。事務局
をWINDに置かせて頂いて、基本的には札幌医科大学、旭川医科大学にもご協力頂く形
で、両教授に顧問に就任頂くことを要請しています。このような形で行政からの援助、財
政基盤の確立を検討しているところです。



【**蝦名理事**】私はこの会を初めて聞いて馴染みがなかったのですが、ALS0-Japan との関係はどうなっているのですか。別団体ですか。

【**斎藤良玄先生**】一応別団体ではありますが、開催に対して人的な協力を頂いています。

【**蝦名理事**】コース受講して資格認定は別に動いているのですか

【**斎藤良玄先生**】その通りです。ALS0-Japan で資格認定をしていますので、我々は開催を計画している団体になります。

【**蝦名理事**】北海道内で ALS0-Japan がやるようなことを企画、運営して、その後の資格認定に関することは ALS0-Japan の方で認めて頂いて維持するスタイルでよろしいでしょうか

【**斎藤良玄先生**】その通りです。

②次回理事会開催日について

議長から、次回理事会を 2023 (令和 5) 年 4 月 15 日 (土) 10 時から開催予定と発言があり承認された。

【議長の説明内容】

現時点で、次回理事会を 2023 (令和 5) 年 4 月 15 日 (土) 10 時から開催予定としていますので、時間を空けておいて頂きたいと思います。何か変更等がありましたら早めに周知しまして日程調整をさせていただきます。基本的にはオンラインでの開催を考えています。

【**議長**】井平先生、関連施設の方からのリクルートに関する情報とか、研修医からの情報とかは、ある程度集まっていますか

【**井平先生**】適宜、皆さんからメールで、金野先生経由の時もありますし、私に直接のときもあります。コア科の学生の情報から結構頂いたりしています。あと他大学からの見学者の情報も頂いたりして、こちらから Web のセミナーなどの案内などを行っています。結構情報を頂いています。

【**議長**】関連施設からある程度情報を頂いているのですね

【**井平先生**】私個人の Google の連絡帳みたいところに貯めているのですが、それを皆さんで共有できるのがあった方がいいと思っています。考えてみます。

【**議長**】是非検討して頂いて、やはり皆でやっているのが大事だと思っていまして、大学が学生との関係では中心かもしれませんが、コア科などの関連施設での対応もかなり大きなことで、それがいい方向に進んでいると思います。それをさらに強化し安定的に行っていくことが必要だと考えています。そのあたりについて金野幹事長を含めて検討をお願いします。来年の入会者が 12 名まであっという間に増えましたので正直嬉しい悲鳴で、ここ 10 年ぐらい無かったことだと思っています。これを続けていくことが非常に重要なことなので、関連施設の先生と一緒に取り組んでいければと思っていますの



でよろしく願いいたします。

【議長】急で申し訳ありませんが、櫻木名誉教授にご出席頂いていますので、よろしければご挨拶をお願いいたします。

【櫻木顧問】皆さんこんにちは。今日の理事会の内容を拝見しまして、WINDの活動が広がりもそうですが、深みが非常に出来た感じです。非常に立体的な活動ができていると見させて頂きました。非常にいい方向に順調に進んでいると思いますので、これからも皆さん横の繋がりをしっかりもって、学生、研修医の指導も一生懸命にこれまで通り続けて頂ければありがたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

5. 閉会の辞

以上を以て、Web会議システムを用いた第30回理事会（令和4年度）の終始異状なく議案全部の審議を終了し、11時13分に議長が閉会を宣し散会した。

上記議事の経過、要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、議長及び出席監事は次に記名押印する。

令和4年12月8日

一般社団法人WIND第30回理事会

議 長 代表理事 渡利 英道

議事録署名人 監 事 佐藤 博

監 事 津村 宣彦

別紙

第 30 回理事会出欠者名簿

出席者	理事	17 名	監事	2 名
欠席者	理事	9 名	監事	0 名
出席者	代表理事	渡利 英道	(Web 参加)	
	理 事	工藤 正尊	(Web 参加)	
		大久保 仁	(Web 参加)	
		山田 俊	(Web 参加)	
		蝦名 康彦	(Web 参加)	
		奥山 和彦	(Web 参加)	
		平山 恵美	(Web 参加)	
		小林 範子	(Web 参加)	
		金内 優典	(Web 参加)	
		勘野 真紀	(Web 参加)	
		和田真一郎	(Web 参加)	
		光部兼六郎	(Web 参加)	
		片岡 宙門	(Web 参加)	
		玉城 良	(Web 参加)	
		藤本 俊郎	(Web 参加)	
		鈴木 賀博	(Web 参加)	
		良川 大晃	(Web 参加)	
	監 事	佐藤 博	(Web 参加)	
		津村 宣彦	(Web 参加)	
欠席者	理 事	加藤 秀則		
		西 信也		
		見延進一郎		
		長 和俊		
		香城 恒麿		
		山下陽一郎		
		服部 理史		
		東 正樹		
		藤枝 聡子		